

## 一般講演（口頭発表）におけるプレゼンテーションについて

**パソコンの準備** 各自でノート型パソコンまたはタブレット端末をご持参ください。通常の液晶プロジェクタで投影できる形式であれば、使用する機種、ソフト、プレゼンテーションの方式等に制約はありません。プロジェクタへの接続は VGA ケーブル（ミニ D-sub 15 ピン） です。Ultrabook や Windows タブレットに採用されている HDMI での接続はできません。ご自分のパソコンに接続端子があることをご確認ください。特に Ultrabook、Mac、iPad 等をご利用の方は変換ケーブルをお忘れにならないようご注意願います。

パソコンの画面の外部モニターへの切り替えの設定方法、スクリーンの同期方法などあらかじめ各自でご確認ください。スクリーンセーバー、省電力、スリープの設定は解除しておいてください。再起動の際のパスワードも、念のためご確認ください。会場に電源タップは用意しますが、混み合うことも予想されますので、来場前に充電を確認してください。パソコンの電源ケーブルは各自で準備してください。パソコンの不具合に備え、必ず スライドの PDF データを CD に保存して、お持ちください。ファイルサイズは極力小さくしてください。各会場には Adobe Reader の利用可能な予備の Windows パソコンを一台準備します。

**試写** 今回試写室は用意していません。あらかじめ各自のノート PC 類を実際に発表する会場のプロジェクタに接続し、画面が投影されるかを必ず確認してください。混雑も予想されますので試写では投影チェック以外の操作は行わないでください。試写は休み時間や講演終了後に行ってください。3月26日の昼休み、3月27日と28日のポスター発表の時間には、各会場に会場係が待機します。できる限りこれらの時間内に試写を終わらせるようお願いいたします。

**発表** 個人でパソコンをご用意頂けない方は予備のパソコンのご利用が可能です。お近くの方で融通しあうなどして、極力個人パソコンのご準備をお願いします。予備のパソコンでの講演が連続した場合、データの受け渡し等で時間が取られる恐れがありますが、その分の時間延長は行いません。会場係の責任以外でパソコンの画面切り替えに時間がとられた場合にも、その分の時間延長は行いません。大会運営側はデータ消去、USB メモリを介したウイルス感染等の責任は負いません。

## 講演の手順

- ①演者は、前演者の講演中に「次演者席」に着席します。会場係に講演順を確認した上で、パソコンをケーブルに接続してください。講演ファイルはあらかじめ立ち上げた状態にしてお待ちください。講演が始まるまで、スライドショーは開始しないでください。
- ②前演者の講演が終わり次第、パソコンを入れ替えます。スイッチャーの操作は会場係が行います。ケーブルの着脱や講演中の操作は演者が行ってください。
- ③配線が複雑になるので、講演準備および講演中は、極力電源は接続しないでください（MacBook Air 等の場合は、電源に接続することで外部モニターへの出力が可能となることがあります）。どうしてもバッテリーに不安のある方は、会場係にお申し出ください。
- ④パソコンをお持ちでない方や、パソコンの接続に問題のあった方は、予備パソコンが利用できます。前演者の講演中に、会場係にその旨お伝え頂き、ご用意いただいたCDを渡し、指示に従ってください。
- ⑤予備パソコン(Windows)を各会場に一台準備いたします。予備パソコンの利用が連続した場合、データの受け渡しに時間がかかる恐れがありますが、その分の講演時間の延長は行いません。

